



別府市楠町の共同温泉「寿温泉」はAI（人工知能）技術を使った顔認証システムを試験的に導入します。

① 共同温泉にAI技術を使った顔認証システムを導入するのはなぜでしょう？

.....



携帯端末を温泉の入り口に設置して、入浴客の顔を識別する。登録済みの顔と一致すれば自動で入り口の鍵が開く。別府市楠町

【別府】別府市楠町の共同温泉「寿温泉」は、AI（人工知能）技術を使った顔認証システムを試験的に導入する。登録した入浴客の顔を識別すると、入り口の鍵が開く仕組み。経営悪化で番台を預かる人が確保できない温泉が増える中で、試験運用の結果が注目される。

# 番台はAI

## 入浴客の顔を識別→入り口解錠

② 導入する顔認証システムはどんな仕組みですか？

.....

### 別府・楠町 共同温泉に試験導入へ

温泉入り口に、専用アプリを入れた携帯端末を設置。入浴客が画面の受付マークを押し、携帯のカメラが顔写真を撮影。AIが認識した顔と登録者の顔が一致すると、扉の鍵を開ける指示が発信される。6月中の試験運用を目指して準備を進めている。

別府市元町にあるAIシステム開発会社代表取締役の吉田柳太郎さん(53)が、東京都の会員制飲食店に提供する技術を応用した。飲食店では登録者の氏名や食べ物の好みを示してサービス向上につなげている。今回はライバシーへの配慮もあって顔を識別するだけの機能を使うと説明する。

扉の鍵は、宇佐産業科学高の高橋俊一朗さん(18)が、別府市山の手町2が、学校で学んだ技術を生かして3Dプリンターで作る。「不備がないようにしっかり調整して仕上げたい。地域の役に立てることに、やりがいを感じる」と意気込む。

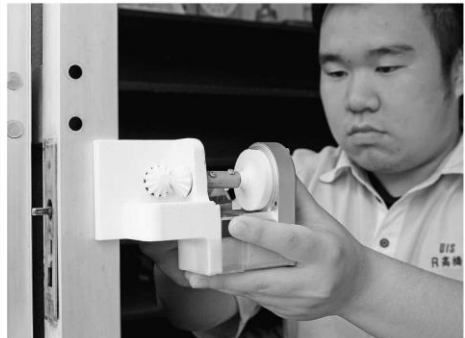
寿温泉を管理する別府八湯温泉連名人会の佐藤正敏理事長(48)によると、住民の利用が多い地域の共同温泉は、生活様式の変化などで利用者が減少。経営悪化で人件費のかかる番台が減り、管理が行き届かなくなるケースが増えているという。

佐藤理事長は「AIが本格導入できて番台が必要なくなれば、経営面のメリットは大きく、閉鎖しなくてよい温泉もあるかもしれない。管理者は入浴客が誰かを確認できるので、地域の見守りや安否確認もできる」と期待している。

(江藤嘉寿)



顔認証のため撮影した携帯端末の画面。顔写真は別府八湯温泉連名人会の佐藤正敏さん



3Dプリンターで作った出入り口の鍵を試している宇佐産業科学高の高橋俊一朗さん

③ 番台にAIを導入することによるメリットは何ですか？

.....